

たまがわ5



創刊号
発行所
青森県
五所

昭和 58 年 10 月 1 日
鈴木武一
五所出張所

★ 出張所より ★

今や、管内の人口は、五万人を超えようとしております。

このたび編集委員の方々の協力によって、ミニコミ紙が発刊されました。

この「ひろば」が、地域の皆様の生活に浸透して、「人と人とのふれあい」のある明るい「まち」づくりの役割を果たすことを願っております。

五所出張所長

中村 義友

ソウナンデス……

情報過多の時代に、何か地元で出そうじやないか……と。

この度ミニコミ紙発刊の決意をいたしました。

十月一日、

この日世田谷区が生まれに日、都民の日、自治記念日として仲秋のよき日、等々……。

いろいろの意をふくめて



創刊しました。

足元の小さい事からや、一寸うれしい便り、昔の事を

今のこと、微笑のうちに交流を増して住み心地のよさを味えるように、そしてや



く行くは、

毎月出して心待ちにしてみようように……と、希いをこめて、委員一同一生懸命努力を重ねますので、

どうぞ皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

あんな見れば、道の小羊に、秋を知る、武陽

30 周年 おめでとう

瀬田小学校

十一月十九日開校三十周年記念式典が行われます。

瀬田小学校は昭和二十九年四月京西小二七〇名、二子玉川小二八名、格町小四二八名、他二五五名計七五一名の児童を迎え、初代校長に毛利徳太郎先生が就任開校されました。

開校迄には、地元有志の方々の並々ならぬお力添えがありました。

現校長安方治先生初め歴代校長先生方、各担当の教職員方、及びPTAの皆様、の協力により、見事に成長した瀬田小学校になりました。

尚この記念すべ



き三十周年の行事の資金の一部にと父母の方々が古紙回収を年間を通じて続ける

と共に、バザー等も行い大変成功しております。

これは学校とPTA、地域の方々の協力によるものです。

式典当日は送校長先生、丹精の菊も香り、元気な児童達の顔もかがやくことでしょう。(大坪)

SPORT スポット

◎ 秋のお祭り

○用賀神社
十月九日(日)、十日(金)
○瀬田玉川神社
十月十五日(土)、十六日(日)

《 学校行事 》

☆ 展覧会
用賀小学校 11/12 ~ 13
京西小学校 11/12 ~ 13
瀬田小学校 11/11
三子玉川小学校 11/18 ~ 19
☆ 学芸会
格町小学校 11/20
☆ 文化祭
用賀中学校 10/28 ~ 29
瀬田中学校 11/9

やきも大会

ラブリバー「多摩川」を愛する会」の恒例のやきも大会が十一月二十三日(祝)二子玉川兵庫島の周辺で行われます。みんなで参加を!

青少年対策委員会行事

卓球大会 …… 小学生
話し方コンクール …… 中学生
クイズ大会 …… 青年

“おねがい”

私達の「まちの新聞」ミニコミ紙「ひろば」をお読みいただいて、いかがでしたでしょうか。

年に数回発行したいと思っておりますので、ぜひ皆様の「意見」をおきかせください。また原稿の投稿をお待ちしています。編集委員または事務局までお寄せください。

郷土紹介 用賀

江戸時代、用賀村が大山詣での街道筋として賑わいを見せていた頃、村の中心は坂下の旧道分岐点近くであつた。

分かれ道の道しるべとして庚申塔が建てられ、その石には右江戸道、左世田ヶ谷四谷道と刻まれていた。



周辺には藩屋、油屋、酒屋、かいは屋、宿屋、酒屋が軒を並べ活況を呈していたという。時移り、明治四十年玉川

電車の開通により、用賀駅が真光寺山門前にできると人々の足は次第に「タマデ」ン用賀駅の方へ向くようになり、町の中心は少し西へ動くことになる。

そして、昭和五十二年新玉川線の開通で、かつて橋場（はしば）

金塚（かねづか）と呼ばれた付近に新駅ができ、再び人々の足は西へむかった。

時の流れの中で「用賀」の中心は、ゆっくりと大山道を、西へ、西へと歩いていく……（飯田）



「手づくりで、味を出そう」ミニコミ紙の合言葉は去る七月編集委員のそいぶみをして、「ひろば」創刊号をようやく皆様へお届けすることができました。地域に根を張りみんなで育てられるミニコミニュース、交流とふれ合いの紙上ひろばに、「オヤッ」と目につく味なことをやる新聞にと、スタッフ一同意欲をもちやっています。

編集はみんな始めての人ばかり、泉のように湧き出

る地域の皆さんの智恵がくろによって支えられる新聞です。

創刊号は、顔見世「中味のあじつけはこれからです」乞・ご期待ノ、

そして、あなたの手も

（柳田・池田）

★編集委員 紹介★

- 委員長 鈴木 武一（用賀）
- 委員 鈴木 堅之（玉川台）
- 高橋 澄子（用賀）
- 飯田 恭次（上賀）
- 柳田 文雄（上賀）
- 大坪智恵子（瀬田）
- 池田 良夫（玉川）

協力 筆耕・小杉（上賀）
イラスト 田中（瀬田）

